

若草進路便り

発行／2022年12月23日 発行者／高知県立高知若草特別支援学校進路部

2学期の現場実習

1学期は7回の現場実習を行いました
が、2学期も7回の現場実習を実施する
ことができました。保護者の皆様、送迎
等のご協力ありがとうございました。特
に3年生は、卒業後利用を希望する複数
の事業所の実習お疲れさまでした。卒業
後利用するしないに関わらず、現場実習
は社会生活を体験し、卒業後の世界を広
げる良い機会になったのではないかと
思います。事業所の担当者の方々のご配
慮もあり、大変有意義な実習となりました。

今回は、初めての試みとして、高知県
庁内の業務を行う高知県ワークステー
ションでの実習を行いました。高知県
ワークステーションには本校の卒業生が
2名在籍しており、先輩のアドバイスや

激励を受けながら2日間の実習を無事終
えることができました。

夏季休業中には

本校では、過去3年間の卒業生を中心
に、夏季休業中にアフターケアを行いま
した。今年度は、14か所の事業所等に卒
業生とゆかりのある教員が訪問し、現在
の様子を伺いました。卒業生を知ってい
る教員が少なくなってきたのが現実
ですが、事業所からのパソコンに関する
困り感の訴えに対して、本校のICT専門
員がアフターケアを行いました。

また、進学を希望する生徒に対して、
教科学習の補習や面接練習を行いました。
進路部では、今後も本人の要望や保護者
のニーズに応じた取組を進めてまいりま
す。

移行支援会議を開催します

卒業を控えた高等部3年生は、1月に移行支援会議を予定しています。移行支
援会議とは、生徒や保護者の方々が、将来の生活についての希望や必要と思われ
る支援の内容を、相談支援専門員、事業所の担当者、市町村の担当者、担任、進
路担当など関係機関で話し合い、卒業後の支援のネットワークを作っていく会議
です。卒業後、地域で豊かに暮らしていくための第一歩となる会ですので、進路
部としても実りある会となるよう進めていきます。